

意思決定支援における 基本的な考え方



日々の相談のなかで、意思決定することに困難を抱える方の自己決定を尊重した支援ができているのか、悩まれたことがあると思います。

本研修では、意思決定支援において大切にしたい視点や、本人の意思を汲み取る工夫やその基本的プロセスを学び、よりよい相談支援につなげていくことを目的に実施します。

講師

よなみね つかさ
教授 與那嶺 司 氏

武庫川女子大学
心理・社会福祉学部 社会福祉学科



【プロフィール】

高校時代から障がいのある方の当事者運動に関わり、アメリカの大学院では、知的障がいのある方へのソーシャルワークについて学ぶ。現在は特に、ソーシャルワークおよび障害者福祉を研究分野として活躍。知的障がいのある方の自己決定支援、QOL（生活の質）を高める福祉的支援のあり方、相談支援専門員による効果的な援助実践について調査・研究に取り組まれている。

【日時】 令和6年3月11日（月）
13:30～16:30

【会場】 大阪府社会福社会館3階 301号室
大阪府中央区谷町7丁目4番15号

【定員・対象者】 60名（先着順）大阪市内で相談支援に携わっておられる方

【申込期間】 令和6年3月6日（水）17:00まで

【申込方法】 FAX/電話
※裏面に申込用紙があります。

受講費無料